

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1051415
園名	明德幼稚園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

東京都港区という都会の真ん中にありながら、芝公園に囲まれて増上寺の敷地内にある当園は、非常に恵まれた自然環境にあります。  
所与のものとして何気なく接するようになっていますが、外部の方の力も借りながら、この恵まれた自然環境をさらに子どもたちが力強く生きるうえでの糧にして行って欲しいと、このテーマを選定しました。

### 2. 活動スケジュール

#### 1. 木育プロジェクト

- ・外部より木育の先生を派遣してもらい、ワークショップを開催（9/12 開催）  
未体験のことに取り組み、木に興味を持つきっかけづくりとする
- ・興味を発展的に広げていき、次の「知る」活動につなげる  
例：身近にある木製品を知る、木の種類を知る、昆虫と木の関係を知る等

#### 2. 芝公園活用プロジェクト

- ・公園内の花壇を利用して、種・苗を植える、育てる、愛でる
- ・芝公園サービスセンターの専門家によるガイドツアーで身近な自然を知る
- ・親子や周辺企業との公園清掃ボランティアで自然を守る意識を高める

#### 3. 行事発展プロジェクト（随時追加）

- ・お芋ほり遠足時に、農園の自然のなかで遊び、探索する自由時間の活用。（他の野菜・果樹や、日常ではみかけない虫の発見）
- ・以前より毎年5月に年少は朝顔、年中はひまわり、年長は野菜を植え、育てており、その活動の発展的な利用を検討。（収穫した野菜の自産自消・色水遊び）

### 3. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・ワークショップでは、東京都多摩産の木材を用いて、丸太切り、端材、カンナクズを用いて、見て、触れて、叩いて、聞いて、匂って、と楽しんでみることから始めた。
- ・年齢別に木育ワークショップに参加することで、よりじっくりと関わり、一人ひとりの自然の捉えを深めたり、それを同年齢の友達と言葉や動きを通して共有したりした。
- ・園児の表情には、非日常の体験を得ることができた喜び・驚きがありありと浮かび、教員も一緒にわくわくした。また、意外な反応行動となった園児も観察できた。



### 4. 振り返り

- ・5月に植えた朝顔が9月まで咲いていたので、年少がその花を使って色みずづくりを始めたところ、年中・年長でも自然発生的にまねをした遊びとなった。園児の興味の広がり方、遊びの中での反応は保育者の上に行くものだと改めて認識した。
- ・次の探究活動として、植物を愛でるだけでなく、使うことを目的に作庭を行った。木育の先生と一緒に植えることで、その植物の特徴や利用方法等を学ぶきっかけとなった。

